

平成 26 年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

平成27年6月30日

富山県東部消防組合
管理者 澤 崎 義 敬 様

富山県東部消防組合
監査委員 石 倉 勝 巳

監査委員 明 和 善一郎

平成26年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成26年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

平成 26 年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

平成 26 年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算

(2) 付属書類

平成 26 年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成 26 年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

平成 26 年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期 日 平成 27 年 6 月 30 日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2 階会議室

3 審査の方法

審査は、平成 26 年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

平成 26 年度の一般会計の決算額は、予算総額 1,738,413,000 円に対し、歳入 1,681,624,938 円（予算対比 96.7%）、歳出 1,639,787,169 円（予算対比 94.3%）であり、差引形式収支額は 41,837,769 円である。前年度決算額と比較して歳入で 27,243,953 円の増、歳出で 5,644,557 円の減となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は 41,837,769 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支 41,837,769 円の黒字となった。

なお、当年度実質収支 41,837,769 円から前年度実質収支 8,949,259 円を差し引いた当年度の単年度収支は 32,888,510 円の黒字となっている。

決算収支状況

(単位：円)

年度	会計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべき 財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
26	一般	1,681,624,938	1,639,787,169	41,837,769	0	41,837,769	8,949,259	32,888,510
	計	1,681,624,938	1,639,787,169	41,837,769	0	41,837,769	8,949,259	32,888,510
25	一般	1,654,380,985	1,645,431,726	8,949,259	0	8,949,259	15,369	8,933,890
	計	1,654,380,985	1,645,431,726	8,949,259	0	8,949,259	15,369	8,933,890
増 減	一般	27,243,953	△5,644,557	32,888,510	0	32,888,510	8,933,890	23,954,620
	計	27,243,953	△5,644,557	32,888,510	0	32,888,510	8,933,890	23,954,620

なお、平成 26 年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
はしご付消防ポンプ自動車配備	密集市街地における火災に対応するため、15m級はしご車を配備した。
緊急消防援助隊支援車配備	緊急消防援助隊の活動を支援するため、人員、資機材を運搬する車両を配備した。
魚津消防署整備工事	消防本部通信指令センターの開設及び女性職員の採用に伴い、魚津消防署施設の改修を行った。
消防救急デジタル無線整備工事	災害現場における無線交信の円滑化を図るため、消防救急デジタル無線の整備を行った。

6 一般会計

平成 26 年度の一般会計総額は、次のとおりである。

歳入 1,681,624,938 円 (予算対比 96.7%)

歳出 1,639,787,169 円 (予算対比 94.3%)

この差引残額 (形式収支) 41,837,769 円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支 41,837,769 円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支 41,837,769 円から前年度実質収支 8,949,259 円を差し引いた当年度の単年度収支は 32,888,510 円の黒字となっている。

(1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
26年度	1,738,413,000	1,681,624,938	1,681,624,938	0	0	96.7%	100.0%
25年度	2,334,629,000	1,654,380,985	1,654,380,985	0	0	70.9%	100.0%

① 収入状況

予算現額に対する収入割合は96.7%であり、前年度収入済額と比較して27,243,953円の増となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は1,017,431,000円で全体の60.5%を占めている。以下、組合債が650,300,000円で38.6%、繰越金が8,949,259円で0.5%、県支出金が2,711,539円で0.2%、使用料及び手数料が1,921,600円で0.1%、諸収入が311,540円で0.1%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収 入 済 額				不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
			金 額	構 成 比 (%)	予 算 対 比 (%)	調 定 対 比 (%)		
1. 分担金及び 負担金	1,017,431,000	1,017,431,000	1,017,431,000	60.5	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及び 手数料	1,904,000	1,921,600	1,921,600	0.1	100.9	100.0	0	0
3. 県支出金	3,100,000	2,711,539	2,711,539	0.2	87.5	100.0	0	0
4. 繰越金	8,950,000	8,949,259	8,949,259	0.5	99.9	100.0	0	0
5. 諸収入	28,000	311,540	311,540	0.1	1112.6	100.0	0	0
6. 組合債	707,000,000	650,300,000	650,300,000	38.6	92.0	100.0	0	0
7. 国庫支出金	0	0	0	0.0	—	—	0	0
計	1,738,413,000	1,681,624,938	1,681,624,938	100.0	96.7	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金、組合債、国庫支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源

は11,182,399円、依存財源は1,670,442,539円となっており、その構成比は、自主財源0.7%、依存財源99.3%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源60.5%、特定財源39.5%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	1,017,431,000	1,017,431,000	1,017,431,000	0	0	100.0%	100.0%
25年度	924,347,000	875,483,018	875,483,018	0	0	94.7%	100.0%

収入済額は1,017,431,000円で、歳入総額に占める割合は全体の60.5%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市464,378,000円、滑川市316,192,000円、上市町210,939,000円、舟橋村25,922,000円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	1,904,000	1,921,600	1,921,600	0	0	100.9%	100.0%
25年度	1,900,000	2,074,650	2,074,650	0	0	109.2%	100.0%

収入済額は1,921,600円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分590,900円、滑川市分925,850円、上市町分403,950円、防火管理講習修了証再交付手数料900円となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	3,100,000	2,711,539	2,711,539	0	0	87.5%	100.0%
25年度	7,141,000	7,224,688	7,224,688	0	0	101.2%	100.0%

収入済額は2,711,539円で、歳入総額に占める割合は全体の0.2%となっており、収入済額の内訳は、県消防学校派遣職員人件費負担金2,711,539円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	8,950,000	8,949,259	8,949,259	0	0	99.9%	100.0%
25年度	15,000	15,369	15,369	0	0	102.5%	100.0%

収入済額は8,949,259円で、歳入総額に占める割合は全体の0.5%となっており、収入済額の内訳は、平成25年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	28,000	311,540	311,540	0	0	1112.6%	100.0%
25年度	28,000	55,260	55,260	0	0	197.4%	100.0%

収入済額は311,540円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、気象観測謝礼31,800円、共済事務等手数料138,374円、預金利息36,716円、講習会場提供等謝礼80,000円、その他24,650円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	707,000,000	650,300,000	650,300,000	0	0	92.0%	100.0%
25年度	1,307,000,000	677,600,000	677,600,000	0	0	51.8%	100.0%

収入済額は650,300,000円で、歳入総額に占める割合は全体の38.6%となっており、収入済額の内訳は、緊急防災・減災事業債103,400,000円、緊急防災・減災事業債(繰越明許費)546,900,000円となっている。

第7款 国庫支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
26年度	0	0	0	0	0	—	—
25年度	94,198,000	91,928,000	91,928,000	0	0	97.6%	100.0%

当初予算では、緊急消防援助隊支援車購入に係る消防施設整備事業費補助金として5,866,000円を計上していたが、緊急・防災減災事業債で対応することとしたため、補正予算で全額を減額している。

(2)歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
26年度	1,738,413,000	1,639,787,169	0	98,625,831	94.3%
25年度	2,334,629,000	1,645,431,726	600,000,000	89,197,274	70.5%

① 支出状況

予算現額に対する執行率は94.3%であり、前年度支出済額と比較して5,644,557円の減となっている。

支出の主なものは、職員給与費839,794,684円、消防本部施設整備費103,572,380円、消防本部施設整備費(繰越明許費)547,732,664円、消防本部運営費66,013,260円、魚津署運営費24,033,345円、滑川署運営費17,965,398円、上市署運営費16,015,287円、舟橋分遣所運営費3,107,311円、魚津署施設整備費14,954,544円、起債償還利子3,804,451円、起債償還元金1,840,000円、一時借入金利子101,342円、組合議会費692,679円、組合運営費114,586円、監査委員費45,238円である。

決算額を性質別(構成比)にみると、義務的経費では、人件費で840,145千円(51.2%)、物件費で210,921千円(12.9%)、維持補修費で10,224千円(0.6%)、補助費等で11,993千円(0.7%)で、公債費で5,746千円(0.4%)、義務的経費全体では1,079,029千円となり、決算総額の65.8%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で560,758千円となり、決算総額の34.2%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	26年度決算額	構成比
1 人件費	840,145	51.2%
2 物件費	210,921	12.9%
3 維持修繕費	10,224	0.6%
4 補助費等	11,993	0.7%
5 公債費	5,746	0.4%
うち元金	1,840	0.1%
うち利子	3,906	0.3%
うち一時借入金利子	101	0.1%
計	1,079,029	65.8%
6 投資的経費	560,758	34.2%
普通建設事業	560,758	34.2%
うち単独事業	560,758	34.2%
歳出合計	1,639,787	100.0%

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	913,000	692,679	0.1%	75.9%	0	220,321
2. 総務費	287,000	159,824	0.1%	55.7%	0	127,176
3. 消防費	1,726,309,000	1,633,188,873	99.5%	94.6%	0	93,120,127
4. 公債費	9,904,000	5,745,793	0.3%	58.0%	0	4,158,207
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,738,413,000	1,639,787,169	100.0%	94.3%	0	98,625,831

第 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
26年度	913,000	692,679	0	220,321	75.9%
25年度	303,000	263,908	0	39,092	87.1%

支出済額は692,679円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっており、不用額は、220,321円で、予算現額に対する執行率は75.9%となっている。

第 2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
26年度	287,000	159,824	0	127,176	55.7%
25年度	301,000	183,430	0	117,570	60.9%

支出済額は159,824円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費114,586円、監査委員費45,238円となっている。

不用額は、127,176円で、予算現額に対する執行率は55.7%となっている。

第 3 款 消防費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
26年度	1,726,309,000	1,633,188,873	0	93,120,127	94.6%
25年度	2,333,127,161	1,644,760,837	600,000,000	88,366,324	70.5%

支出済額は1,633,188,873円で、歳出総額に占める割合は全体の99.5%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費839,794,684円、本部運営費66,013,260円、魚津署運営費24,033,345円、滑川署運営費17,965,398円、上市署運営費16,015,287円、舟橋分遣所運営費3,107,311円、消防本部施設整備費103,572,380円、魚津署施設整備費14,954,544円、消防本部施設整備費（繰越明許費）547,732,664円となっている。

不用額は、93,120,127円で、予算現額に対する執行率は94.6%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
26年度	9,904,000	5,745,793	0	4,158,207	58.0%
25年度	500,000	223,551	0	276,449	44.7%

支出済額は5,745,793円で、歳出総額に占める割合は全体の0.3%となっており、支出済額の内訳は、起債償還利子3,804,451円、起債償還元金1,840,000円、一時借入金利子101,342円である。

不用額は、4,158,207円で、予算現額に対する執行率は58.0%となっている。

なお、平成27年3月末現在で、起債償還残高は元金1,326,060千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
26年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
25年度	397,839	0	0	397,839	0%

平成26年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0%となっている。

7. 財産管理

(1) 土地について

該当なし

(2) 建物について（平成26年度中の異動なし）

本部通信指令センター 延床面積579㎡

上市消防署舟橋分遣所 延床面積273㎡

(3) 物品について（平成26年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	決算年度 末現在高
(本部)	テント一式	1
	緊急消防援助隊支援車	1
	はしご付消防ポンプ車	1
(魚津署)	消防用ホース洗浄機	1
	消防用ホース	10
	ウェットスーツ	1
	オープンラック	1
	ミーティングテーブル一式	1
(滑川署)	空気呼吸器用軽量ポンベ	1
	空気呼吸器	1
	潜水救助資器材	1
	マルチガス検知器	1
	消防用ホース	20
	水難救助用ストレッチャー	1
(上市署)	ジェットシューター	5
	空気呼吸器用軽量ポンベ	2
(舟橋分遣所)	消防用ホース	10

8. 意見

(1) 施設の整備関係等について

組合施設等の整備については、今後、消防車両の更新等、多額の経費を要することが見込まれる。有利な起債、補助金等を活用することにより経費の削減を図るとともに、適切に更新時期等を見極めたうえで整備計画を作成されたい。

(2) 組合債の償還について

平成27年3月末現在で、起債償還残高は元金1,326,060千円、今後利子を含めると1,373,376千円の返済を要する。今後、組合債の償還額が多額になることから、組合施設等整備計画を勘案しながら、計画的な発行及び返済に努めていただきたい。

(3) 契約について

契約、特に1者による随意契約に際しては、業者から提出された見積書をもって漫然と契約することのないよう、内容を十分精査の上、適切な価格をもって契約業務を行われたい。

9. むすび

以上、平成26年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

予算の執行に際しては、関係諸帳簿等は正確に処理されており、事務事業の執行については、関係法令に準拠して適切に執行されていた。

組合として3年目を迎えるにあたり、本部、各署においては、なお一層の経費節減等効率的、合理的運営に努力されるとともに、消防広域化のメリットを十分に生かした火災・救急・救助体制の充実、強化を図り、地域住民が安心して安全に暮らせるよう努力されることを望むものである。